

すぎなさん



三宅小学校同窓会 会報誌 第15号 令和2年3月18日発行

三宅小学校全校児童数 87名（男46名 女41名）令和2年3月現在

ご挨拶 三宅小学校同窓会長 井ノ口 清浩（第57回 昭和40年度卒 井ノ口区）



同窓会の皆様には、お元気でお過ごしのことと拝察致します。日頃は、同窓会活動に対しまして御支援・御協力を賜り厚く御礼申し上げます。平成天皇陛下が退位され「令和」がスタート、そして2020年には、日本で二度目となる「オリンピック東京大会」が、いよいよ開催されます。前回の大会時、私は小学生で学校の和室に正座して見た思い出が有ります。この記憶に残る年に会長を拝命しました事に、感慨深いものがあります。

さて、当校でも少子化問題は大きい心配するところでは有りますが、授業内容や指導方法も充実した教育が成されていると思いますので、地域住民の皆様も学校の開放日や行事には、お越し頂けたらと存じます。

又、私が今一番に危惧している事が子供達が通学途中等に事故や犯罪に巻き込まれないかという事です。どうか、三宅小学校の子供達が悲しい目に遭いませんよう、そして健やかに成長してくれる事を願い、学校、地域住民の皆様、保護者の皆様と『ワンチーム』と成り、取り組んで参りたいと存じますのでご協力いただけますよう、お願い申し上げます御挨拶とさせていただきます。

みやけの里 三宅小学校長 玉井 茂博（第66回 昭和49年度卒 市場区）



同窓会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動につきまして、特段のご支援とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、本校では今年度、学校教育目標を「自立する力、貢献する力の育成」として、教育活動に取り組んでまいりました。おかげをもちまして、本校児童は日々健やかに成長を遂げております。ところで、毎年、地域の方々にお世話になっている三世代交流まつりにおいて、参加した役員の方から、次のような一言をいただきました。「私は今回役員として参加し、三宅小学校の子供たちに会うのも初めてだったけど、面識のない子供から『ありがとうございます』とお礼を言われました。

驚いたと同時にとても嬉しかった。」という一言です。児童の素朴で何気ない一言が、地域の方への感謝を表すとともに地域の方を元気づける一言となりました。地域と共にある学校の意義をあらためて実感した瞬間でもありました。

今、ランチルームの窓からは、春の訪れとともに緑を際立たせつつある芝生広場が見えます。体育大会等大きな行事での駐車場として利用させていただきだけでなく、クラブ活動や子供たちの活動場所としても大いに活用させていただいております。この芝生は、本校百周年を機に同窓会の寄付により完成しました。これまで地元グラウンドゴルフ愛好家の方々の献身的なお力添えと同総会費により維持管理されてきており、本校の自慢の一つとなっています。

終わりになりますが、今後も、本校児童が、風光明媚な自然環境のもと、地域とのふれあいを大切にしながら、ふるさとを誇りに思い、地域・社会に貢献していくよう取り組んでまいりたいと思います。

同窓会便り

三宅の里の将来のために

第67回（昭和50年度卒） 中西 昭彦（天徳寺区）

毎朝、家の前の道路に小学校に通う子供たちの元気な声が響きます。その様子は私達が学校に通っていた時と（人数を除いて）それほど変わっていません。ただ三宅小学校の周りは時代と共に大きく変化してきたと思います。綺麗な鉄筋コンクリートの校舎の東側には保育所がありました。私も二年間通っていましたが、卒園して隣の小学校に移るのはそれほど抵抗ありませんでした。かつて、木造の講堂は私が在校中に今の鉄筋コンクリートの体育館に建替えられました。また、プールはなく上中中学校にあった町営のプールへ授業時間に歩いて行き利用していたように思い出します。運動場も今の様に広くなく、裏山が校庭に迫っていたように記憶しています。

これからも時代と共に変わっていくことにな

ると思いますが、ゆくゆくは私達が通った学校も統廃合される時が来ると思います。けれど、どんなに時代が変わっても、その時その時のそれぞれの思い出は決して失われることはありません。

私達は継続していくことに大きな価値を見て、何とか続けていくことに努力する傾向が強いと思います。でも、そのことで時代に合わないことをしてしまっているように思いますし、将来に負担を残していることも事実かと思えます。

今後、元気に学校に通っている子供たちが生き生きと生きていける社会であり続けるように、私達が今、すべきことは自分たちのことを考えるのではなく、将来のために考えて確かな選択をすることだと思います。

回想

第57回（昭和40年度卒） 河原 恒男（天徳寺区）

私は小学校を卒業して50年以上たち、息子は20年たち、当時を思い出しながら書きます。

学校の思い出は、春には校庭の周りに桜の木々があり入学シーズンにはすごく綺麗に咲いていたことを思い出します。夏には、現在はプールが有りますが私の時代には無い為に、課外で北川へ涼をとりに先生と行った覚えがあります。秋には、学校の裏山に行き紅葉を写生に行き絵を描いた覚えがあり綺麗な木々を思い出しました。冬になると、高学年の時だったと思いますが学校にストーブがあり当番2名で薪を持ち寄り朝早く学校に行き、コークスストーブに火を点けた思い出が有り、雪が多いときは大変でした。

学校行事では、息子が6年生になった時に、白山へ登山し、1日目の朝から登り始め、2500mあたりを超えると木々がなくなり、夏にも関わらず残雪がありました。2日目には朝4時ごろに起床し御来光を見て、自分の影が雲やガスの

中に浮かび（ブロッケン現象）幻想的であったのが強く印象に残っております。

最後に、小学校を卒業して久しいですが、忘れられない出来事が沢山あったことが思い出されました。やっぱり小学校の6年間は今でもよい思い出になっています。



【6年生の息子と白山登山】H7

当時は振り返り

第90回（平成10年度卒） 上田 一輝（若王子区）

私は、今はダムの底となった河内で生まれました。小学校3年生まではバスで山を下り熊川小学校通っていました。私が三宅小学校でお世話になったのは4年生の春からです。

当時、新しい家から学校までの約2kmの道のりは果てしなく遠く感じたものです。しかし、新しく友人も増え、次第に登下校の長い道のりは苦ではなくなりました。たった3年しか通っていない三宅小学校ですが、私にはたくさんの思い出があります。中でもイタズラをした時に叱ってくださった先生や地域の方たちのことは鮮明に思い出されます。どれも子供だからこそその良き思い出です。

こんな私が小学校を卒業して20年以上が経ちました。現在、私の娘が三宅小学校へ通っています。先生や地域の方々から優しくのびのびと育てていただき日々感謝しております。今は、私が子どもの頃に比べると自由がなくなったようにも思います。しかし、子ども達は当時と変わらず素直に真っ直ぐ育っています。それも全て三宅小学校の教育方針であったり、地域の方々の人柄のおかげだったりするのだと思っています。

学校と地域の素晴らしい関係性が私の誇りであり、今後、増々よくなることを願うばかりです。

素晴らしい学び舎に感謝

第90回（平成10年度卒） 羽賀 佑樹（かみなかコーポ）

私が三宅小学校を卒業したのは平成11年でした。今から約20年前になります。この度、光栄なことに同窓会誌に寄稿させていただくこととなり、三宅小学校に在学していた頃の記憶を思い返してみました。すると、校舎の前の池やランチルーム、広いグラウンド、裏のスキー場など、20年経った今でも情景を想起することができ、新緑の山々の中にそびえる校舎が脳裏に刻まれていることに気付きました。卒業した後も中学校や高校への通学路でしたので、日々、三宅小学校の校門前の坂道を自転車で駆け上っていたことも良い思い出となっています。

懐かしい思い出に浸りつつ、ふと校歌を口ずさんでみたところ、歌い出し部分を覚えておりました。当時は意味も分からず覚えた通りの歌詞を大声で歌っておりましたが、大人になった今、改めて歌詞を思い返してみると、みやけの里の自然や瓜割りの清流、千石の山々に囲まれ、清き心の成長を願っている歌であると改めて解釈することができました。

30歳を過ぎ 大阪に居を構えて、社会人として様々な人と小学校の思い出を語る機会があるのですが、都会の小学校では100m走のレーンや200mトラックなどは考えられないそうです。私は非常に恵まれた環境の中で育ててもらったのだと今更ながら気づくことができ、関わってくださった先生方、地域の方々に改めて感謝しました。

確か4年生の時でしょうか…経緯は覚えてお

りませんが、20名のクラスメイトで42.195kmのフルマラソンを、リレーで走り切るイベントをした記憶があります。約半日かけてバトンをつなぎ、完走することができました。チーム全員で一つの目標に向かって、お互いに応援しながら最後までやり抜く大切さを学び、その経験は少なからず今の社会人の礎となっていると思います。

近年は安全面の配慮や気候変動などの時代背景もあり、運動会の縮小、団体演技の廃止、マラソン大会の中止などの話を聞きます。時代と共に教育現場も移り変わっていくことは仕方のない事と考えますが、少し寂しくもあります。ぜひ、三宅小学校はこれからも素晴らしい学び舎として、ずっと輝き続けていくことを願っております。



【仲間と記念撮影】 H11



【人権講演会】2019. 10. 29

若狭町出身で、目に障害のある築山清美さんを招いて「チャレンジ」と題して人権講演会を開催しました。



【三世代交流まつり】2019. 11. 9

学校と保護者・地域とが連携して、学校の子どもたちと父母、祖父母、地域の方々などが、昔遊びや工作などのいろいろな体験を通して交流を行いました。

三宅小学校 同窓会費 決算報告

収入の部

項 目	金 額 (円)	備 考
前年度繰越	5 0 1	
会 費	1 2 4, 2 0 0	300円×414人
入 会 金	6, 0 0 0	500円×12人
貯金利息	0	
計	1 3 0, 7 0 1	

支出の部

項 目	金 額 (円)	備 考
事 務 費	2, 9 4 0	切手・封筒
会 議 費	1, 6 7 4	お茶
同窓会会報誌	7 3, 7 0 0	印刷費
維持管理費	5 0, 0 0 0	芝生管理
同窓会事業基金	2, 0 0 0	積立
計	1 3 0, 3 1 4	



【芝生広場でグラウンドゴルフ】

同窓会費の一部は、学校の芝生広場の管理に使わせていただいています。芝生広場は、休み時間に子供たちが遊んだり、クラブ活動でグラウンドゴルフを行ったりしています。

差引残高 130,701 - 130,314 = 387

※ 387円は、次年度の会計に繰り越させていただきます。

編集後記

ここに皆様の母校への思いがこもった「すぎなさん第15号」が完成いたしました。この発行を通して旧交を温めていただけましたら幸いに存じます。最後になりましたが、今後益々の同窓会員皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。

同窓会会報誌は、三宅小学校ホームページでも配信しています。

<http://edu.town.wakasa.fukui.jp/s-miyake/>

令和元年度

三宅小学校同窓会 会報誌編集委員

河原 恒男 (天徳寺区理事 第57回卒)

中西 昭彦 (天徳寺区理事 第67回卒)

上田 一輝 (若王子区理事 第90回卒)

羽賀 由香里 (かみなかコーポ理事)

平田 晃弘・谷口 文代 (同窓会幹事)

同窓会事務局 住所

〒919-1542

福井県三方上中郡若狭町井ノ口49-11

三宅小学校内

電話 : 0770-62-0005 FAX : 0770-62-0038

電子メール : miyake-es@edu.town.wakasa.fukui.jp